


ふなばし あったかんにー

平成 27 年度 船橋市障害者雇用優良事業所表彰



近年、障害のある方の雇用状況は着実に改善されており、本市においても職場実習先の開拓と共に、障害のある方を雇用し、職場実習を受け入れた事業所に対して奨励金を交付するなど、障害者雇用を推進しています。

しかし、従業員 50 人以上の市内事業所で法定雇用率（2.0%）を達成する企業は 50.0% に留まっています。（平成 27 年度千葉労働局による障害者雇用状況調査報告）

そこで、障害のある方を多数雇用し、働きやすい環境を作るための工夫や、職場実習の受け入れを積極的に行っている事業所などを優良事業所として表彰し、広く公表することにより、これから雇用を考える事業所へのアプローチを図りたいとの思いから、平成 26 年度より、「船橋市障害者雇用優良事業所表彰 ふなばし  あったかんにー」を実施しました。

応募のあった市内事業所について審査し、今年度は 3 事業所が表彰されました。

その優れた取り組みをご紹介しますので、今後の障害者雇用の参考にしていただければ幸いです。

平成 28 年 3 月



船橋市経済部商工振興課
TEL 047(436)2477
※制度については、船橋市ホームページをご覧ください。

※本文中の数字は、平成 27 年 6 月 1 日時点のものです。

有限会社キツキサービスステーション

新聞販売店の経営

有限会社キツキサービスステーションは、20年以上、新聞販売店として地域に信頼される店をめざし、新聞を届けてきました。現在の従業員は29人。障害者雇用率の対象にはなっていない事業所です。

実習受け入れから雇用へ

こちらの販売店の配達区域に、特別支援学校があります。「高等部生徒の職場実習を受け入れてもらえないか」。社長の城築さんは、学



できることはまずやる



実習を機に、城築さんは古紙回収を始めました。月1回

校の教諭の打診に「いいですよ」と了承しました。希望した男子生徒には、重度の知的障害があります。会話でのコミュニケーションは難しく、緊張すると言葉が出なくなりま

す。しかし、2回の実習を経て彼は採用になりました。城築さんは「彼だからOKした」と言います。新聞に折り込むチラシをそろえるのが仕事で、エリアごとに入れるチラシの確認までします。今では自主的に動くことができるようになりました。

信念のもとに行動する

城築さんの信念は、「できることはまずやってみる」。受け入れ前であれこれ心配するより、とにかく受け入れてみる。そして、問題があればその解決に力を注ぐ。そういう姿勢が常にあるため、従業員の信頼も厚く、障害のある方の受け入れについても反対が出ることはありませんでした。

今後も受け入れを検討

「彼らが来てから、会社の雰囲気優しくなりました」と語る城築さん。会社としては、新しく販売店を請け負うことになったそうです。「さらでも来年度は実習や雇用を受けられます」と、城築さんは心強い言葉をくれました。



所在地：船橋市二和東
業種：新聞販売業
従業員：29人
障害者：2人

障害の有無にかかわらず、時給は同額。指導も、区別せず同じように、その人が理解できる方法でしているそうです。「ここは会社であり、ボランティアの場とは違う。何年かかっても、他の人と同じように一人前の社会人になってほしい」と考えているからです。しかし、厳しいだけではなく、たくさんの菓子パンを買ってきてみんなと一緒に食べたり、支給された障害者職場実習奨励金でお菓子を購入して特別支援学校に差し入れをしています。

審査委員
評価
ポイント

- ★ 雇用義務が生じない規模ながら、2名の障害者雇用をしている。
- ★ 本人の希望を取り入れたキャリアアップ支援を図っている。



レビー・ケア株式会社

医療と介護の融合

レビー・ケア株式会社は、船橋、八千代、千葉に4つの施設を持ち、住宅型有料老人ホームやグループホームの運営をしています。

「医療と介護をひとつにした、安心・安全・迅速の介護」をモットーに、85人のスタッフが勤務しています。

その人にできることを

障害者雇用に取り組み始めたのは、平成26年4月。それまでも障害者支援施設から何度か



その人に合った仕事を

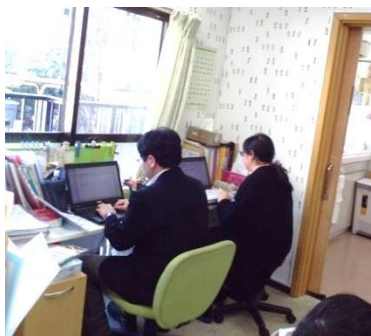
雇用に関する問い合わせはあったのですが、障害者雇用率が引き上げられたことから、ハローワークに相談しながら雇用を進めることになりました。

最初に雇用したのは、知的障害のある女性でした。支援施設からの紹介です。「介護関係の資格がないと入居者の身体介護はできないため、ベッドメイキングや清掃などの仕事を頼んでい

ます」と、総務課長の塩見さん。出勤は7時で、スタッフの人手が少ない時間帯に朝食の配膳を手伝い、その後は食堂の清掃、エプロンやおしぼりの洗濯などを行っています。

翌5月には、ふたりの精神障害がある方を雇用しました。勤務は、入居者の主治医を務める、併設のクリニックです。

ひとりめは女性。障害者就労



支援施設がサポートをしています。仕事は、パソコンを使って入居者のカルテや病院への紹介状作成、家族あてダイレクトメールのあて名書きなど。

もうひとりの男性は、初めてハローワーク求人から採用した方です。パソコン操作が速くて正確なので、難易度の高い仕事や急ぎの入力を任されています。

ふたりとも、仕事に慣れた頃に本人の希望もあり、勤務時間を延ばしています。

以前から雇用していた方も

現在、長年パートで働いていた女性が精神障害者保健福祉手帳を取得しました。この方はパニック障害や視野狭窄の症状があります。先の知的障害のある女性とシフトを組み、同じ仕事を行っています。

人混みが苦手なので、混雑しない交通手段を選

んで通勤していますが、「二度、日曜日に出勤しても出たら、バスが混んでつらい思いをし

たらしいので、日曜日は勤務日からはずしている「そうです。

現場の理解を得る

障害のある方の雇用について、現場では当初、不安や先入観から、一緒に働くことを歓迎する方ばかりではなかったそうです。しかし塩見さんは、インターネットや支援施設の支援員から障害の特性などを学び、「自分たちと同様にスピードや正確さを求めるのではなく、その人に合った仕事を作るべき」と主張。今では、彼らは自分なりのやり方を身につけて他のスタッフに劣らない働きをするようになり、現場の理解も得られたようです。

また、定期的な面談で生活面まで様子を聞き、成長を見守りながら、親身に相談にのっています。

「今後は、職場実習の受け入れについても積極的に起こないたい」と話しています。



所在地: 船橋市上山町
業種: 介護事業
従業員: 85人
障害者: 3人

審査委員
評価
ポイント

- ★ 体調などを考慮した出勤時間を設定している。
- ★ 自立した社会人として生活できるよう、面談で解決を探っている。

社会福祉法人 健恒会

介護施設の運営

健恒会は、平成15年に社会福祉法人として、特別養護老人ホームである「船橋健恒会ケアセンター」を開設。10年以上運営してきました。

介護施設なので、手すりやスロープ、エレベーターなどのバリアフリーは完備されています。また、ボランティアや高校生アルバイトも出入りし、利用する方に優しく、地域に開かれた施設を目指しています。



長期に渡り複数名雇用

支援機関から雇用

ここでは、現在3名、障害のある方々が働いています。

最初の雇用は平成19年。知的障害のある女性が、支援機関からの紹介で来ました。食器洗浄、入居者のおしぼりセット、清掃などをしています。

3年後には、同じ支援機関からやはり知的障害のある男性を雇用し、シーツ交換や物品の補充を中心に働いてもらっています。

このふたりを現場で指導している杉浦さんは、「毎日の仕事の流れが決まっているので、今では時々様子を見るだけ。任せられるようになりました」と言います。

女性は明るい性格で、入居者にもここにことあいさつをします。



す。居室の清掃では、ぞうきんやブラシを使って、ベッドの下や窓ガラス、洗面台など、一生懸命に磨いています。

男性は、自分で決めた手順できっちりで仕事をこなします。指示したことをまとめたマニュアルを自筆で作ったほど、仕事への理解はしっかりしています。ただ、融通を利かすところが苦手で気持ちに余裕がなくなる時があります。杉浦さんは、時間があると彼の話に耳を傾けているそうです。

精神障害者を初めて受け入れ

昨年からは働いている3人目の男性には、精神的障害があります。新たな雇用を考えていたとき、県の就労支援プログラムで紹介され、採用に至りました。

自分で自動車を運転して通勤し、パソコンの操作が得意なので、人事係で人事や経理の仕事をしています。この男性は、仕事は間違いなくこなせますが、他の人との会話は苦手。

そのため、指示は施設長の細野さんと本部課長の田中さんからすることに限りました。長時間仕事に集中すると頭痛がするため、時々「休憩させてください」と申告し、別の場所です。

趣味を「コミュニケーション」に

3人の雇用を管理している松村さんは、「今までに雇用した障害のある方が、辞めることなく働いてくれていたのはうれしい」と話します。勤務時間帯は、本人の希望や体調を考え、それぞれ違いますが、個々の事情を見て決めているからです。

また、松村さんは常々、「趣味の時間をもっととるように」と言っているそうです。習字や塗り絵、鉄道など、楽しみは人それぞれ。皆さんは余暇を楽しんだ話をしてくれるそうです。こういった会話が他の職員とのコミュニケーションにつながっていると言います。



所在地: 船橋市金杉町
業種: 介護事業
従業員: 86人
障害者: 3人



★ 2名は長期にわたり雇用されている。

★ 本人の希望に合わせた労働時間の設定、指示系統の一本化で配慮をしている。

審査委員
評価
ポイント